

笑顔と元気あふれる 住みよいまち田布施

たぶせ

THE TABUSE ASSEMBLY NEWS



議会だより

第156号

題字は岸信介先生書 2023年(令和5年)1月27日



たぶせ楽市2022 (12月3日)

100個のスカイランタンが冬の夜空を彩りました。

12月定例会・新年のぞあいさつ	2P
10・11月臨時会	4P
視察研修レポート	5P
8人の議員が町政を問う	6P
議会だより155号を読んでの感想	14P
リレー随筆・熊毛郡町議会議員合同研修大会	15P



▲携帯で簡単に議会のホームページにアクセスできます

12月定例会

庁舎・学校等町有施設の電気料金高騰に伴い 1644万円増
たぶせで子育て! 出産祝い金対象者増に伴い 50万円増



本会議 (12月8日)

令和4年12月定例会は12月8日から9日間の日程で開かれました。本定例会では町長提出議案の補正予算3件、条例5件、人事1件を審議しました。また、初日の本会議では、8人の議員が一般質問に登壇しました。なお、記載のQ&Aは付託した常任委員会のQ&Aも含めて掲載しています。

町長提出議案

補正予算

●一般会計(第7号)

9006万円を増額補正し、予算総額は79億3095万円とするもの。

なお、電力価格の高騰に伴い、庁舎や学校など町有施設の電気料を1644万円増額している。

《主な歳入補正》

・地方特例交付金

371万円増

・新型コロナウイルス感染症対策地方税減収補填特別交付金を計上

・国庫支出金 891万円増

私立幼稚園に対する施設型給付費に係る「子どものための教育・保育給付交付金」の増額、児童手当交付金の増額など

・県支出金 1399万円増

水産物供給基盤機能保全事業費の増額や、農地災害復旧事業の計上

・財産収入 4157万円増

町社会福祉協議会と波野住宅跡地などの土地売却

・繰入金 1300万円増

収支調整として財政基金繰入金を増額

・町債 840万円増

防災拠点等整備事業債、災害復旧事業債の増額など

《主な歳出補正》

・総務費 241万円減

防災公園駐車場等整備事業費を増額する一方、新型コロナウイルス地域支援対策事業費を減額

・民生費 4254万円増

後期高齢者医療広域連合に対する療養給付費の前年度精算負担金の計上、私立幼稚園に対する施設型給付費の増額など

・衛生費 1206万円増

電力価格の高騰等に伴う、周東環境衛生組合負担金及び田布施・平生水道企業団補助金の増額など

・農林水産業費 1249万円増

尾津漁港機能保全事業

費の増額など

・災害復旧費 501万円増

農地災害復旧事業費の計上

おもな質疑

Q 土地建物売却収入4157万円の内訳は。

A ①社会福祉協議会の建物1870万円②波野住宅跡地1600万円③やのくにホール周辺の法定外公共物(道路と水路)637万円④駅前町有地の一部51万円

Q のんびらんど・うましま事業維持支援金が200万円減額になっている。キャンプ場が再開され、どのくらい回復したのか。

A 令和2、3年度はコロナの影響で営業停止したが、令和4年度は土日・平日とも営業できたので減額した。今年度は4月～10月まで休みなく営業し、延べ約2070名の利用者があった。

Q 子供の増加を見込んでいますが、社会増があったのか。

A 今年の4月から11月まで、転入者が転出者を7人上回る社会増となった。

Q 水道料金低減対策事業の内容は。

A 田布施・平生水道企業団の

新年のごあいさつ

安心して暮らせる町づくり

世の中からの一掃は

明けましておめでとうございます。
 町民の皆様には新春を清々しい気持ちでお迎えのことと、お慶び申し上げます。
 議会の定例会・臨時会は、コロナ対策の地



副議長 南 一成

方創生臨時交付金のたび重なる追加予算審議で、計10回開催されました。エネルギー関連による物価高騰対策、子育て支援など、暮らしに密着した施策を実施するよう検討しました。
 本年も議会活動を通じて安心して暮らせる町づくりに励みます。
 うさぎ年が皆様にとって幸多き年となります様ご祈念申し上げます。

明けましておめでとうございます。
 議員活動にご理解ご協力を賜りお礼申し上げます。
 目標は大きく、誰もが豊かで楽しい暮らしが可能な世の中の到来を！



議長 松田規久夫

ウクライナ侵攻を含めた世界中の戦争の一掃
 ・SDGsの目標の一つ、地球上から貧困の一掃
 ・コロナウイルスを含む感染症を地球から一掃
 他人を尊重し、富を独り占めせず、和を以って貴しと為しの心を胸に暮らしたいものです。

条例

○町個人情報の保護に関する法律施行条例の制定

個人情報保護に関する法律の改正に伴い、その施行に必要となる規定を定めた条例を制定するもの。また、個人情報保護制度の一元化に伴い、法律の規定と重複する事項を定めている「町個人情報保護条例」等の廃止を行うもの。

Q「帳簿を一般に閲覧に供する」というのがないが、どうなるのか。
 A来年度以降は、法律で「個人情報ファイル簿」を別途作成して公表するようになる。

Q「訂正請求」「利用停止請求」はどうなるのか。
 A来年度以降は法律に基づいて運用していくようになる。

○町情報公開・個人情報保護審査会条例の制定
 前条例と同様、個人情報保護制度の一元化に伴い「町情報公開・個人情報保護審査会」を廃止し、「個人情報保護の保護に関する法律」の規定により行われる開示決定等に係る不服審査請求諮問に対する答申

を行う附属機関として設置するもの。

Q条例ができたら、審査会の委員は新たに任命するのか。
 A来年度4月1日以降の委員は、新たに任命予定。

○町職員の定年等に関する条例の一部改正
 地方公務員法の改正に伴い、令和5年度から13年度にかけて段階的に定年の引上げを行うもの。

○地方公務員法の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整備に関する条例の制定
 定年の引上げに伴い、関係条例の整備を行うもの。

○町下水道事業の設置等に関する条例の制定
 地方公営企業法を令和5年度から適用することに伴い、新たに制定するもの。

人事

○副町長の選任
 副町長の任期満了に伴い、川添俊樹副町長を再任するもの。

●特別会計
 ○下水道事業(第3号)
 整備費を755万円増額し、総額を8億6142万円とするもの。
 【全員賛成】

○介護保険(第3号)
 総務費と地域支援事業費の調整で1万円を増額し、総額を16億8517万円とするもの。
 【全員賛成】

最終応募(12月23日夕切) 13件(町外3件、町内10件)
 【全員賛成】

【賛成多数】

討 論

●反対討論 國本 悦郎

前期の町長・副町長コンビの4年間を振り返ると、課税ミスの隠蔽に始まり、人事評価での「0」評価、「豊部屋」への人事異動、パワハラ問題では、人格非難の対応を放置と、通常の人権感覚を持つていれば起こり得ないことが続いた。

二人は、田布施町役場の表も裏も知り尽くし、町民の利益を優先するのではなく、先ずは、組織の防衛本能が働いているようだ。

2期も無投票で町民の審判を受けなく、人権侵害で勧告を受けた町長には、外部から厳しくチェックできる副町長を登用してもらいたい。

●賛成討論 西本 篤史

副町長選任について賛成討論を行います。

川添副町長は4年間、町長の補佐役として尽力されてきました。

地方創生やまちづくり、財政健全化などに精通されています。

再任は妥当だと思いますので皆様の賛成をお願いします。

臨時会

10/28

補正予算1件、条例1件、契約1件の町長提出議案を審議しました。

補正予算

●一般会計(第5号)

1億7477万円を増額し、総額を78億3189万円とするもの。

〈主な歳入補正〉

・国庫支出金

1億5377万円増

・マイナポイント申込支援事業及び価格高騰緊急支援給付金事業など

・繰入金 2100万円増

〈主な歳出補正〉

・総務費

7907万円増

・マイナポイント申込支援窓口設置委託料、防犯灯・集会所電力等高騰支援事業、交流館出荷者応援事業、肥料高騰緊急支援事業、燃油高騰対策漁業者支援事業、がんばる学生応援事業、介護事業所・障がい者(児)・児童

福祉施設等支援事業、子ども食堂支援事業、学校給食無償化事業、進学等支援事業

・民生費 1億172万円増

一世帯あたり5万円を支給する価格高騰緊急支援給付金事業費の計上

・防犯灯・集会所電力等高騰支援事業の対象は、

〔A〕自治会からの申請に基づいて支払うもの。領収書や通帳の写し等で自治会の電気料等であるということがわかれば対象となる。

〔Q〕地域交流館の出荷応援事業は補助金が足らなかつたら補正するのか。

〔A〕補正で対応をしていきたい。

【全員賛成】

●条例

○町営住宅管理条例の一部改正

建設中の城南住宅を、子育てに適した町営住宅とするため、所要の特例を追加するとともに1工区分の住宅の建設年度及び戸数を変更するため改正するもの。

【全員賛成】

契約

○工事請負変更契約の締結(中央雨水1号幹線(基16工区))

管渠築造工事)

鋼材価格の高騰に伴い契約金額4377万円を5250万円に変更するもの。

〔Q〕鋼材の値上がり分が約900万円という認識でよいか。

〔A〕鋼材が約600万円位の増額で、残りは工事内容の変更によるもの。

【全員賛成】

11/25

補正予算5件、条例3件の町長提出議案を審議しました。

補正予算

●一般会計(第6号)

県人事委員会勧告等に準じた給与改定及び人事異動等に伴う給与関係の補正で、900万円を増額し、総額を78億4089万円とするもの。

【全員賛成】

●特別会計

○国民健康保険(第2号)

給与関係の補正で、20万円を増額し、総額を18億7075万円とするもの。

【全員賛成】

○下水道事業(第2号)

給与関係の補正で、11万円を増額し、総額を8億5387万円とするもの。

【全員賛成】

○介護保険(第2号)

給与関係の補正で、13万円を減額し、総額を16億8516万円とするもの。

【全員賛成】

●後期高齢者医療(第2号)

5万円を増額し、総額を3億4769万円とするもの。

【全員賛成】

条例

○町職員の給与に関する条例の一部改正

人事院勧告及び県人事委員会勧告をふまえて、国・県に準じて実施する一般職の給与改定に伴うもの。

【全員賛成】

町長等の給与に関する条例の一部改正

町議会議員の議員報酬等に関する条例の一部改正

【全員賛成】

総務文教

11月10・11日に
なんかんまち ましきまち
 熊本県南関町・益城町を視察しました。



南関町(11月10日)

総務文教委員会の視察研修は2年間コロナ禍のため中止されていましたが、3年ぶりに再開されました。今回は「中学校地域運動部推進事業の取組」と「震災から復旧・復興に向けての取組」について南関町と益城町に視察に行きました。

【南関町】

・中学校地域運動部推進事業の取組について

国は令和5年度以降の休日の部活動の段階的な地域移行に向けて、地域人材の確保や費用負担の在り方、運営団体の確保などの課題に総合的に取り組むために、全国各地の拠点校(地域)において実践研究を実施し、研究成果を普及することで、休日の地域部活動の全国展開につなげる予定です。南関町では先駆けて「総合型地域スポーツクラブ(NPO法人A-LIFE)」を設立していて今後、休日の部活指導の委託を計画されています。しかし、指導者の確保、指導場所、兼職兼業、部活動方針のニーズ、保護者意識、予算、責任、指導方針、教員の意識などの問題や課題も多いそうです。

【益城町】

・震災から復旧・復興に向けての取組について

田布施町は南海トラフ大地震の津波のリスクがあります。今後、災害に見舞われた時に備えて被災地である益城町の被災直後の課題や復旧の取組について研修しました。被災直後は機能不全に陥り、人や物資が押し寄せて混乱、役場本庁も被災し職員参集状況の未把握により初期対応が遅れが出た。災害対策本部の機能強化が課題であった。他に災害に強い道路ネットワークの構築、避難所の運営改善や防災力強化、冷静な状況判断と地震に強い施設の重要性を痛感したそうです。また、防災備品は一か所にまとめず分散して保管し、防災訓練時に賞味期限前の備品を入れ替えるなど、研修した内容を今後、田布施町の発展に役立てたいと思います。

益城町にはSANJIの像があります。地震で給食センターが被災し「コック」のサンジが駆けつけ、地元農産物を使い、おいしい温かい給食を作ることで町の未来を担う子供たちの健康と笑顔を創り出します。

経済厚生

11月1・2日に
おうなんちょう おくいずもちょう
 鳥根県邑南町・奥出雲町を視察しました。



奥出雲町(11月2日)

【邑南町】初日の視察は、人口が約1万人、高齢化率45.2%、令和3年度普通会計歳出予算が約135億の邑南町です。人口減少対策として、合併後の平成23年度に「邑南町農林商工等連携ビジョン」を策定し、「A級グルメ構想」と「日本一の子育て村構想」を核とした地域振興の推進を掲げました。「A級グルメ構想」の成果としては、飲食店が、20軒以上増加したことです。二つ目の取組である「日本一の子育て村構想」では、定住促進には子育て支援の充実が必要との思いから、「地域で子育て」をキーワードに町独自の助成制度を制定。「日本一の子育て村構想」は、医療、保健、福祉、就労、結婚、教育、生活環境、定住支援、邑南町版ネウボラなど多岐にわたり、この構想の取組により人口減少の抑制を実現しています。

【奥出雲町】二日目の視察は、鳥根県の東南端に位置する人口約1万1千人、高齢化率45.0%、令和4年度一般会計歳出予算額約143億円の奥出雲町です。当町は、庁舎のICT化や地域ブランドの振興等に取り組んでいますが、今回は、観光協会の法人化について視察しました。以前の観光協会は、事務所が役場内にあり土日祝日の観光案内ができない、収益事業ができない制約を解消することを主目的に観光協会を法人化したそうです。観光協会の事業内容は、①観光案内所運営事業②マネジメント・人材育成事業③マーケティング事業④商品開発・サービス・集客事業⑤情報発信・プロモーション事業⑥営業活動事業等で、年間観光客数は約74万人(スキー客含まず)です。

【学ぶべき点】邑南町の取組は、グルメによる地域活性化というアイデアの斬新さと、日本一の子育て村構想も、平成23年度と非常に早い時期から、斬新な町独自の助成制度を制定し、実行したことが成功の要因と言える。奥出雲町での観光協会法人化は、年間74万人の観光規模や実情を考えると必然的な流れと言える。田布施町とは大きな開きがあるが、田布施町の観光の方向性を考える上で、大いに参考となると感じました。



12月定例会 一般質問

8人の議員が町政の課題を問う

地域公共交通計画

策定の進捗状況は

落合 祥二

令和6年3月には策定したい 東 町長



落合 祥二 議員

【A】①令和5年1月に田布施町地域公共交通協議会を立ち上げ、令和6年3月には計画を策定したい。②同協議会において計画策定の中で検討したい。なお、広域となると関係市町や関係事業者の了解が必要。③児童生徒に不利益が生じてはならないが、町教育委員会と協議し検討する。

【Q】地域公共交通は、自動車を使わない住民に対して通勤、通学、買物、通院などの移動手段を提供し日常生活を支える。そこで尋ねる。①計画策定の状況。②本町の周辺部と中央部を結びともに隣接市町の病院をも結ぶ複数の予約制デマンド乗合タクシーの運行。③スクールバスの活用。

町地域公共交通協議会予定メンバー

Table with 2 columns: 区分 (Division) and 組織名・団体名 (Organization/Group Name). Rows include various stakeholders like 防長交通, 柳井地区タクシー協会, 田布施町社会福祉協議会, etc.

高齢者福祉タクシー助成

長距離利用者に配慮しては

落 合

今は考えていない 町長

田布施町高齢者福祉タクシー利用状況

Table with 4 columns: 区分 (Division), 交付枚数(枚) (Number of vouchers issued), 利用枚数(枚) (Number of vouchers used), 利用率(%) (Usage rate). Rows include 独居世帯, 日中独居世帯, and 計 (Total).

【Q】9月議会で、柳井市の制度を紹介し本町の制度の改善を求めた。しかし「複数の券の使用は間違えて混乱する恐れがあるのでできない。」との回答だった。「初乗り690円だけでは超えた金額の負担が大きいので利用しづらい。」との声を聞く。長距離利用者に配慮した制度に改善できないか。

【A】各市町の事情で目的は様々。本町の制度は自力で外出が困難な方に通院や買物など定期的な外出する時にかかる経費の負担を少しでも軽減するため初乗り運賃を助成している。外出の機会を増やすための支援と閉じこもりを防ぐことを目的としているので制度の変更を今は考えていない。

柳井市 拡充します! 75歳以上の在宅の市民で自動車運転しない人 3/28(月)受付開始. Includes a QR code and details about the subsidy program.

柳井市資料より

- 対象者は75歳以上の柳井市民で自動車運転しない人(運転免許証の返納や自動車・バイクの廃車は求めない)
○令和4年度から初乗り券を廃止し、400円と100円券を交付。
○1回の乗車につき最大1,000円分の助成券が利用できる。
○複数人で相乗りする場合、対象者ごと最大1,000円分の助成券が利用できる。

一般質問

一般質問は、町政全般について、町長など執行機関の考え方や方針を問いただすものです。ここでは紙面の都合上、質疑の中から内容の一部要旨を掲載しています。

地域課題の解決に

町職員の副業はできないか

内山 昌晃

制度設計が可能か検討 東 町長



内山 昌晃 議員

Q 地方公務員には営利目的の副業を禁じる規定があるが任命権者が許可すれば認められ、許可要件を定め副業を認める自治体もある。本町の課題である農業の担い手不足や地域の社会的共同生活困難化の解決、部活動の地域移行に係る指導者等、地域貢献活動に町職員の副業を認めてはどうか。

A 現状、事務量の増加、複雑化に加え新型コロナウイルス対応等の突発的な事務量の増大により本町のような小規模な自治体は副業を適正に機能させるには課題がある。従前通り草刈等のボランティアを奨励する。また、地域のニーズがあるか、制度設計が可能か検討する。職員の意見も聞いてみたい。

本町の玄関口に賑わいを

田布施駅の可能性について

内山

駅舎の建て替えを計画

町長

Q 島根県奥出雲市にはJRの駅が3つあり、観光協会事務局、カフェ、蕎麦屋、特産市として賑わっている。来年度、田布施駅のトイレを新設することと併せて、商品販売や観光案内等、その目的に応じて多目的に使用できるスペースをつくることかできないか尋ねる。

A 来年度のトイレ新設に向けJRと協議中。早期の着手を目指し、JRとの協議の中で駅舎の建て替え(コンパクト化)を計画。10年以内には実



田布施駅

現の見込。今後も、トイレ、駅舎のコンパクト化も見据え現在あるスペースの有効活用等、駅周辺の整備も含め検討する。

人口減少に歯止めを

遊休地の有効活用

内山

団地開発補助をモデル的に実施

町長

Q 現在、遊休地となっている民地や町有地について民間業者を巻き込んで有効活用ができないか尋ねる。

A (1)旧波野団地北は民間に売却。旧砂田住宅は一部が民地、接続道路が狭く活用方法を検討中。長田、名倉住宅は統合し建て替える。(2)団地開発補助をモデル的に実施

① 旧町営住宅跡地の有効活用
① 高層マンション、商業施設の誘致
(2) 新たな宅地の開発
① 宅地開発業者へ補助金創設
② 開発促進のための町道新設



旧波野団地北跡地

助をモデル的に実施。下水道雨水路整備の際の仮設道を町道として整備できるか地元の意向を確認。都市計画道路や用途地域の見直しを検討。

人権侵害認定勧告

真摯な対応を

國本 悦郎

指摘された事項は否定しない 東 町長



國本 悦郎 議員

Q ①県弁護士会からの勧告には事実誤認はあるか②4点を人権侵害と認定したが、関係者の処分は③「O」評価を認めた副町長や町長の責任は重い、処分は④人格非難を入れ、抗議に対応させた総務課長、それを放置した町長と副町長の責任は⑤特別職を入れたハラスメント防止条例を。

貴町が、申立人への嫌悪に基づき、①異例の短期・頻回の人事異動を行ったこと、②人事評価で異例の低評価を行ったこと、及び③人間関係を切り離し隔離された場所で単独勤務をさせたことは、人事権を乱用して申立人に苦痛を与えたものである。また、④それらが全国報道され苦情の電話が寄せられたことに対し、申立人の人格非難を含む内容の対応をしたことは、申立人の名誉を傷つけたものである。以上の4点は、いずれも貴町が申立人に対して人権侵害を行ったものと認められる。

貴町に於いては、真摯な反省に基づき、申立人に謝罪するとともに、再発防止の決意を示すべきことを勧告する。

山口県弁護士会が町に対して行った勧告の趣旨

A ①弁護士会の勧告で指摘された事項は否定しない②人事に伴うものは私の責任であるから職員の処分は考えていないが、職員研修は行う③遡って処分するという考えはない④あつてはならないことだが、当時の状況からすれば、やむを得ないことだったと思う⑤先進事例を参考にしたい。

発掘調査報告書

報告書未刊行の要因は

國本

発掘現場での作業を優先した

鳥枝 教育長

Q ①発掘調査員3人の内、1人を長年発掘調査の担当から外しているが、そういった人を教育長は把握していたか②発掘報告書未刊行の発掘調査は何件あり、その主な要因と責任の所在は③今後の人員配置と報告書刊行の見通しは④これまでの報告書はどこで閲覧できるか。



吉井遺跡 B 地点の発掘現場

A ①業務の役割分担の変更はあったが、その内1名が担当から外れてはいない②5遺跡については発掘を優先し、報告書は未刊行で、遅れの責任は教育委員会③8遺跡の報告書の刊行予定は、令和8年度中までに刊行する計画で、文化財専門員2名他6名を配置④図書館及び文化財調査室。

コンプライアンス
行動指針等、3つの
要綱や指針

遵守され
機能して
いるか

國本

総務課の窓口で
判断している

町長

Q ①消防団員年報酬、出勤手当は個人に支払わなければならないと監査から指摘されながら放置しているのは②ハラスメントの件数と公益通報の件数は③公益通報の受付は遅滞なく行われているか④内部通報の窓口を、人権侵害の想定問答集を作成した職員の担当は住民感情にそぐわないが。

A ①各分団から意見聴取しているが、支払方法の見直しは継続協議中で、分団ごとに対応②窓口である総務課によると該当しない内容と考えており、件数等の回答は差し控える③窓口の判断で受け付け自体をしないこともある④窓口内部のことについては答弁を差し控える。

少子高齢化

現状と取組は

高月 義夫

移住定住政策を進める

東 町長



子育て城南住宅募集中



高月 義夫 議員

A 近年転出超過、特に10代後半から20代前半の若年層の転出が多いことが、その後の結婚や出生数にも影響を及ぼし、継続的な人口減少の第一の問題である。移住・定住施策や、安心して住み続けられる良好な生活環境の整備を進め、中長期的な視点で「まちづくり」の戦略として取組む。

Q 東町長の二期目がスタート。そこで、基本的且つ今後の田布施町にとって、極めて重要な少子高齢化問題について質問する。

田布施町で少子高齢化が進んでいる原因は、何が考えられ、どのような問題が起こると思われるか。また、今後少子化への町としての取組は。

町ホームページ

見直しを 高月

新しい情報発信検討 町長



田布施町ホームページ

Q 昨年6月の定例会でホームページに様々な情報の掲載をお願いした。その後は気を付けて頂き改善が図られた。ただ、今のHPには何か欠けているものがあると感じる。文字情報が多く、視覚的にその楽しさ、思いがなかなか伝わってこない。ホームページの役割、見直しは？

A ホームページは、高齢者や障がいがある人など、より多様な人々に情報を伝えることが可能なツール。日々改善に努める。今後、本町の取組が遅れている新たな情報ツールとして、LINEやSNSなどを活用した情報発信を、来年度以降、新たに活用できるように、一部予算化を検討。

地方創生・人口減対策

住宅地を増やしては

西本 篤史

住環境の整備をする

東 町長



西本 篤史 議員

Q 町の年間出生数は減少し、令和3年度は64人。令和4年度10月末現在42人である。JRの利便性を活かして住宅地の増設や田布施駅周辺の整備、空き家の有効利用など移住、定住に重点をおき人口増をすべきではないか、婚活支援なども重点にすべきでは。

A 町内で民間宅地の開発を行う事業者に補助制度を創設し、町が定住の地として選ばれる住環境の整備をする。駅、トイレの新設に向けて、現在JRと協議を行っている。空き家の有効利用は物件登録に向けてPRする。結婚支援は「サザンセット・マッチングイベント」を開催している。



耕作放棄地の有効利用を

「第2期田布施町まち・ひと・しごと創生総合戦略」

- ・「結婚・出産・子育て環境の整備」:33施策のアクションプランを設定しており、「地方創生検討委員会」でKPI(重要業績評価指標)の評価やご意見・ご提言を協議。
- ・「結婚支援」:1市4町で構成している「柳井地区広域行政連絡協議会」では、「サザンセット・マッチングイベント」を開催している。

今後の災害対策

防災士を増やしては

西本

町広報で募集している

町長

Q 熊本地震被災地では災害対策本部の機能強化が課題であった。他に災害に強い道路ネットワークの構築、避難所の運営改善や防災力強化、冷静な状況判断と地震に強い施設的重要性。防災力の向上として自主防災組織や防災士養成講座で防災士を養成している。町の防災計画は。

A 町内の防災士は現在3人程度。防災士の資格を取得した者に対して経費の3分の2を

補助する防災士育成補助金を令和2年度より実施。防災士資格取得試験の受験資格が与えられる自主防災アドバイザー養成研修に参加してもらうため、消防団や自主防災組織など町広報で募集している。

町の防災計画(第6次総合計画)

基本目標3「いのちと生活を守るまちづくり」

- ・「消防力の強化」:人員確保や女性団員数の増加を図る。
- ・「防災・減災施策の強化」:非常電源設備設置。保健センター完成後は災害対策本部と福祉避難所を指定する。
- ・「災害に強いまちづくりの推進」:自主防災組織、防災士育成

内部統制制度

ミスを防止し事務の適正化を

瀬石 公夫

制度への理解を深め整備する

東 町長



瀬石 公夫 議員

A県内で公金の誤振込が発生し、県庁で内部統制制度の研究会が開催された。内部統制の理解を深め整備の検討をし、事務の誤り等が発生しない体制づくりに努める。業務マニュアルの作成状況は、必要数1029件で整備率は79.1%。パソコンでデータ作成し、課内で共有している。

Q地方自治法の改正により、内部統制の方針を定め、体制を整備することし、市町村長には努力義務が課された。

これは、事務の適正な執行を確保する体制で、不適切な事務処理により町民や関係者に不利益や迷惑をかけることの無いよう、ミスを防止する制度である。対応や取組は。



月刊「地方財務」

マイナンバーカード

情報が悪用されるのでは

瀬石

セキュリティの周知を図る

東 町長

Q本町のマイナンバーカード交付率は50%台に留まっている。「カードを持ってでもメリツトが無い」、「情報が悪用されるのでは」、「口座登録は不安」などがあるのでは、不信任感を払拭する啓発や広報が必要では。公金口座を登録すると柳井市2万円、上関町1万円のように現金給付しては。

Aホームページにおいて、セキュリティの詳細を確認できるようにしている。また、交

有害鳥獣対策

ジビエセンターの設置を

瀬石

広域的取組が必要

東 町長

Q野性鳥獣による農産物被害は深刻である。近年は道路や住宅回りに出没し人的被害も懸念される。モデル地区を設けて、被害撲滅の基本的対策を実施し、その成功事例を持って、全町に広げる等のビジョンが必要では。また、捕獲した鳥獣の活用は重要で、ジビエセンターの設置を。

A被害対策モデル地区は、アドバイザーを派遣して地域状況に応じた対策を立てる「地域ぐるみ活動」という県の補助事業があり、周防大島町が実施している。ジビエセンターは、肉の安定的な供給と一



捕獲されたイノシシ

定の需要がないと運営は難しい、県、近隣市町での広域的取組が必要と考えている。

◎その他の質問

給食完全無償化で子育て支援を

付時にはセキュリティについての資料を渡している。今後、必要に応じて広報等で周知を図る。1〜2万円の独自の給付金事業に対して財源が現在のところ無い。来年度の国の支援で給付できるか注視する。

町内道路沿いの草刈り

高齢化が進む自治会
どう対応

伊村 渉

相談し問題解決を図る

東 町長



伊村 渉 議員

Q 町内道路沿いの草刈りをどうやって克服するか、高齢化の自治会で、どの様に対応していくか問う。①町内一斉清掃とクリーン作戦に改革の余地はないか。②町道沿いの草刈りを計画的に対応できる方法はないか。③商店、工場周辺、高齢者で自宅回りの草刈りが不可能な人への対応は。

A ①町民・企業・行政が一体となつて環境美化活動を進め、必要な車や機材の提供を続ける。②全道路を町が計画的に管理するのは現時点では困難。可能な限り協力をお願いする。町道矢蔵浜城線は予算増を検討したい。③困難な場合、自治会とも相談し問題解決に必要な支援をしていく。

麻里府地域の現状

人口減少を遅らせる計画は 伊村

地域と一緒に考えていきたい 町長

麻里府地域の人口推移（各年4月1日）

	令和4年	平成29年	平成24年	平成19年	平成14年
尾津東	93	107	134	149	149
見田団地	183	185	213	220	230
尾津中	97	103	110	135	134
尾津西	65	82	99	117	107
中郷	128	154	176	178	192
上組	55	68	78	86	96
馬島	27	32	30	35	42
計	648	731	840	920	950

	令和4年	平成29年	平成24年	平成19年	平成14年
総人口	648	731	840	920	950
平成14年比	▲ 302	▲ 219	▲ 110	▲ 30	
年少人口	29	44	63	92	94
平成14年比	▲ 65	▲ 50	▲ 31	▲ 2	
生産年齢人口	264	318	419	494	564
平成14年比	▲ 300	▲ 246	▲ 145	▲ 70	
老年人口	355	369	358	335	292
平成14年比	63	77	66	43	

Q 町の人口は令和4年4月1日現在1万4674人で、麻里府地域は648人、町全体の4.4%にあたる。20年前は950人で31.8%減少している。麻里府地域は夢プランを成中であるが、町の中心から離れた地域に人口減少を遅らせる対応案があるか。

A 町の中心部から離れた地域は、コミュニティの維持、町民生活や集落機能の維持が困難で深刻な問題であるが、その特性に合った人口減少対策は難しいというのが実情。「支えあい・共助のまちづくり」を一層進め、支えあいの仕組みづくりのプランニングと一緒に考えていきたい。

高齢者の外出支援

買い物送迎サービス増便は

神田 栄治

帰りの便を2便に増便する 東 町長



神田 栄治 議員



買物送迎バス

Q 自動車運転できない高齢者のため創設した買い物送迎(外出支援)サービスが今年で9年目となる。高齢化率は増加したのに対し、利用者数は年間400人から600人台で、1日あたり2名程度と横ばいという状況。まずは増便が急務と考えるが、如何お考えか。

A 65才以上を対象に片道500円で、平日のみ、地域を2系統に分け、午前又は午後1日1往復運行中。従来、9時迎えの11時送りと、13時迎えの15時送りだったが、利用者アンケートで増便要望等もあり、令和5年3月から5月まで、帰りの便を各1便増やす実証運行を実施する予定。

アクセス向上と町の政策実現

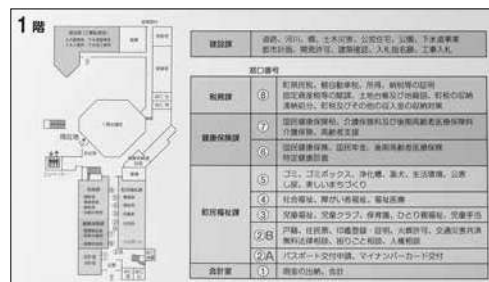
組織改正を

神田

業務量に変化があれば検討 町長

Q 庁舎1階の事務スペース拡大に伴い、職場環境が改善される。この機会に、町民来庁時、希望する課へのアクセスを容易にするため、また、職員が働きやすく、機動力をより発揮できる組織とするために、課名変更や係・課の新設、それに伴う仕事の統廃合などの機構改革を提案する。

A 庁舎の現状は、1階窓口業務に支障をきたすことが多く、事務スペース見直しについて検討中。総合案内所設置のメリットも認識している。重点施策を推進するための係・課の新設や名称変更、組織改正は、各課の業務量が大きく変化するようなら、全体の均衡も考慮しながら検討したい。



庁舎1階案内図

人権侵害勧告に対する対応は

神田

町長

町職員へのハラスメント

Q 県弁護士会人権擁護委員会から、税金の徴収ミスを内部告発した町職員に対する町の処遇を、人権侵害と認定し、謝罪と再発防止の決意を示すべきとの勧告書を受けたことについて、町は、どのような対応をとられたか。また、再発防止のためどのような対策をとられるのか。

A 町として、県弁護士会人権擁護委員会からの勧告を尊重し、申立人にあらかじめ町長から謝罪をした。常日頃から人権侵害やハラメント行為がないよう訓示等で伝えており、今回の勧告を受け、ハラスメントの防止と

人権が尊重される田布施町と町役場の推進に尽くす。



田布施町職員のハラスメント防止等に関する指針

議会だより155号を読んで

◆お礼◆
議会広報広聴モニターの皆様にはご多忙中にもかかわらず、
毎号貴重なご意見やご感想をいただき厚くお礼申し上げます。



◆改善継続の立役者

濱田 秀樹

前回モニターとして投稿した内容は、令和4年度の当初予算であった。この度155号を読んでの感想では、そういうタイミングなのか令和3年度の決算である。年度は違えどその経過が気になり議会だよりを見返してみた。

まず、令和3年度決算について一般会計で見ると、歳入が約71億に対し、歳出は約69億とあった。ではその前はどうかだったのか、令和2年度決算について見返してみると、一般会計で歳入が約83億に対し、歳出は約80億と、一般会計特別会計を合わせても黒字となっている。これは以前町長の回答にもあったが、平成28年度から継続中である。

特に歳入増の一部要因として町職員さんのご尽力という内容があった。議会の場面でも様々な議題に対し関係部署職員の皆様が奮闘し多面的に町民の為、日々職務を遂行されている事に深く感謝したい。

◆感謝！

山本 ひろ子

モニターを拝命してまず思った事は、議会だよりにあまり目を通していなかった事です。町民として恥ずかしい限りですが、議員リレー随筆は、いつも読んでいました。個人個人の内面が垣間見えて面白かったからです。これを機に、少し勉強したいと思います。今回の一般会計概要はグラフでわかり易く表記され、説明も要点が記載してあり、棒グラフでも進捗状況がよくわかり、良かったと思います。限られたスペースで伝達する広報の議員さんに感謝です。

さて、今回とても気になる質問がありました。「安心して暮らせる町に」とあり、私も共感しました。災害は待つたなしです。早急に行なうければならない事案だと考えます。災害の程度、季節、時間帯により、様々な要因が出てくるでしょうが、先送りにしないで熟考していただきたいです。

初めてのモニターングで、より関心を持って読ませていただきました。一般質問で、災害時の避難対策と高齢者の買い物や病院への移動手段が目止まりました。少子高齢化、コロナ禍で地域の方との交流も少なくなると、情報共有が出来ないことで、支え合いが難しくなっていると私も感じていました。安心して住める町づくりにには欠かせない課題だと思いました。高齢の方が、もう少し自由に出かける事ができたら、心も体も元気に過ごせるのではと思いました。表紙の写真を見て、父が参加して「子ども達のプログラムが可愛くてとても良かった」と言っていたのが分かりました。西公民館でのイベントには、母も参加して元気をもらったと喜んでいました。このような催しが増えると、お互いに楽しくて良いと思います。私にも何か出来るのかと模索しています。ありがとうございます。

◆支え合いの大切さ

河合 恵美子

町の出生数は令和になって60人台に減り、少子化対策で町を活性化していく必要性を実感します。人口減少に歯止めを打つ策は、新生活応援支援、出産祝いや空き家改修等。新規事業は高校生まで、医療費無償化に取り組まれています。また、新しい保健センター建設が、母子にとって保健推進の活動拠点となり、産み育てやすい地域になる様望みます。他にも新たな対策を加えて、少子化人口減少にさらに力を入れてほしいと思います。

議会掲示板で、田布施駅にまつわる話があり、田布施町の歴史にも興味を湧きました。歴史郷土館にも足を運んでみたいと思いました。

県庁議会広報研修会で、議会だよりの文字の詰め込み過ぎの指摘がありました。他地区の広報紙の良き所を吸収され、イラストや大きな写真で季節感を出し、楽しく気楽に読みやすくなることを期待します。

◆少子化に歯止めを

有清 宏見

交流館下の河川敷に小川があります。私はこの小川の清掃に、家族全員で参加したことがあります。その際、娘がデッキブラシで楽しそうに小川の中を掃除していたことが印象的でした。掃除が楽しいだけでなく、たまたま一緒に参加していた子どもさんと、仲良く掃除することが出来ました。小川が綺麗になり、新しいお友達も出来て、娘も私もとても嬉しい気持ちになりました。子どもたちが遊ぶ場所は、子どもたちで綺麗にする。そういう場所を、私たち大人と一緒に作っていく。こうした楽しいコミュニケーションの場を作っていくことは、とても大事なことです。

暖かくなったら小川の中に入って、カニやエビなどを探して遊べるような小川にしてほしい。子どもたちのために、子どもたち目線で、子どもたちと一緒に考えて頂けたら嬉しいです。

暖かくなったら小川の中に入って、カニやエビなどを探して遊べるような小川にしてほしい。子どもたちのために、子どもたち目線で、子どもたちと一緒に考えて頂けたら嬉しいです。

◆子どもたちのために

坂本 友美

暖かくなったら小川の中に入って、カニやエビなどを探して遊べるような小川にしてほしい。子どもたちのために、子どもたち目線で、子どもたちと一緒に考えて頂けたら嬉しいです。

暖かくなったら小川の中に入って、カニやエビなどを探して遊べるような小川にしてほしい。子どもたちのために、子どもたち目線で、子どもたちと一緒に考えて頂けたら嬉しいです。

暖かくなったら小川の中に入って、カニやエビなどを探して遊べるような小川にしてほしい。子どもたちのために、子どもたち目線で、子どもたちと一緒に考えて頂けたら嬉しいです。

思えば遠くへ来たもんだ



神田 栄治

議員になったのをきつかけに、田布施防犯パトロール隊へ入り、地域での犯罪防止を目指すボランティア団体だ。活動は、主に小中学生の登下校の見守りを行っている。

先日、東小の集団下校で、となりを歩く男子児童に声をかけたら、2年生との事。思えば、自分も50数年前、6年間、晴れの日も雨の日も歩いた道だ。私の子供も親も同じだ。見渡せる景色も、東小の校舎や民家が建て替わり時代の流れを感じる。新春の初夢は、初孫の登下校に付き添って歩く自分の姿といたきたいものだ。

田布施の田の字は田んぼの田



落合 祥二

28年前の平成7年、テレビ山口開局25周年を記念して市町村を30秒間で宣伝する「ふるさとCM大賞」が開催された。本町は「田布施の田の字は田んぼの田」のキャッチコピーで挑戦した。小学生が田んぼに向かって「田布施の田の字は田んぼの田」と叫ぶ。役場で転入届の合

言葉は「田布施の田の字は」。女性コーラスが「田布施の田の字は」を合唱。さくら橋でタンゴを踊って「田布施の田の字は」。最後に幼児が「楽しい田布施です」という。皆さんのご協力のおかげで「田布施の田の字」がグランプリを受賞した。

議員リレー随筆

熊毛郡町議会議員合同研修大会

10月26日(水)、田布施町の西田布施公民館で開催された、熊毛郡町議会議員合同研修大会に参加しました。研修内容は「やまぐちデジタル改革の取組について」で、講師は、山口県総合企画部デジタル推進局デジタル政策課副課長の林弘一郎氏でした。国の「デジタル社会の実現に向けた改革の基本方針」、「デジタル・ガバメント実行計画」、総務省で策定された「自治体DX推進計画」等を踏まえて策定された「やまぐちデジタル基本方針」の基本的な考え方や内容などの説明をされました。目指すべき将来像として、産業維新、大交流維新、生活維新という3つの維新に基づき、改革の基本姿勢として①地域課題の解決②新たな価値の



熊毛郡合同研修大会

創造③デジタルバイト(情報格差)の排除④多様な主体との連携・協働⑤スピード・柔軟性・持続性を掲げデジタル改革を推進していくとのことです。地域課題の解決、都市部との格差の解消、住民の暮らしや社会経済活動の向上など、これからの時代には欠かすことのできないデジタル化について参加者全員熱心に話を聞いていました。

議会を傍聴してみませんか

町議会は、定例会(3月・6月・9月・12月)と必要がある場合に開かれる臨時会があります。議会では、皆さんの生活に密着した重要な問題が審議されています。身近な町政を知るため、また、議員の活動や町議会の様子を知るためにも、議会を傍聴してみませんか。

3月定例会の日程(予定)

7日	本会議(初日) (一般質問)
10日	予算審査特別委員会
14日	経済厚生委員会
16日	総務文教委員会
20日	本会議(最終日)

※いずれも午前9時から。定例会の日程は、正式には3月3日の議会運営委員会会で決定されますので、ご確認下さい。議会を傍聴される方は傍聴規則により、傍聴席に携帯電話・スマートフォンを持ち込むことはできません。

発見!クイズたぶせ?

三択クイズです。3問お答えください。

問1

表紙の写真で沢山浮いているオレンジの光は何でしょう。

- ① UFO
- ② 蛍
- ③ スカイランタン



問2

子育て城南住宅への最終応募は何件でしょう。

- ① 5件
- ② 9件
- ③ 13件



問3

田布施町子ども食堂の名前は何でしょう。左のキャラクターの名前が付けられています。

- ① たぶちゃん
- ② らぶちゃん
- ③ ちよるる



ヒント

問1と2の答えは「議会だより」の中に書かれています。探してみてください!



応募方法

ハガキに①答え②郵便番号・住所・氏名・性別・年齢・電話番号をご記入のうえご応募ください。

●宛先

〒742-1592

山口県熊毛郡田布施町大字下田布施3440-1
田布施町議会事務局 宛

●応募締め切り 令和5年2月28日(火)

●Eメールからもご応募できます

gikaijimukyoku@town.tabuse.yamaguchi.jp

正解の中から抽選で3名様に千円分の図書カードをお送りします。
なお、正解者の発表は発送をもってかえさせていただきます。
ご了承ください。

※前号の正解は

- 問1 ③オミクロン株
- 問2 ①14m×18mでした。

編集後記

明けまして おめでとうございます。

12月定例会を中心に一般質問や2年ぶりの各委員会視察研修など、多岐に渡る内容を掲載しました。今回の補正予算の特徴は、電力高騰による補正です。世界情勢や様々な要因で電力が高騰、当初からの大幅補正です。生活に直結した問題であり、更なるエネルギー削減への取組みが急がれます。表紙は、12月3日田布施町商工会主催のたぶせ楽市2022のスカイランタン打上げの様子です。イベントも出来ない年が続きましたが、夜空高く上がるランタンのように、元気で高く舞い上がる年となるよう、議会の様子を、住民の皆様へ分かりやすく伝える紙面づくりに取組んで参ります。本年もよろしくお願ひ申し上げます。(高月)

議会広報委員会

- | | |
|------|-------|
| 委員長 | 河内 賀寿 |
| 副委員長 | 高月 義夫 |
| 委員 | 谷村 善彦 |
| 〃 | 内山 昌晃 |
| 〃 | 落合 祥二 |
| 〃 | 神田 栄治 |

